

事業者・団体意見交換結果

まちづくり全体に関すること
駅西地区の住民の高齢化が進んでおり、若い世代はさらに郊外に住んでいることを踏まえる必要がある。
市が計画などを策定しているうちに企業が事業を進めてしまう。早急に覚悟を決めて土地を確保するなどして、その後に活用方法を考えても良い。
今後、空家などが増えてくると予想され、土地などを取得しやすくなると考えられる。
様々な意見を聞いたり調整するには時間が必要だと思うが、できるだけ早い時期に実現してほしい。
駅西地区で車いすの方が行き来している姿をあまり見かけない。
飛騨市にできる大学に集まる人材に働きかけ、移住・定着するような施策ができるとよい。
市の子どもがふえる、高山に帰ってきたいと思えるまちづくりをすすめてほしい。
移住者を取り込むための取組み（市の魅力や特徴づけ、意見を取り入れるしくみづくり）が必要。
高山に残りたいと思えるまちづくり。
今までは、まちなかという駅東のイメージしかなかったが、アンダーパスの開通やコロナを経て、駅東西を含めた大きな街なかとして開発を考える必要があると考えようになった。
旧高山市内のまちづくりを進めるにあたり、駅西地区や駅東地区をどうすべきか考え、まち全体の視点から相対的に捉えるべき。
駅西地区だけの議論をすると、10年、20年後に駅東地区のまちづくりとバラバラになってしまう。
現状では、駅東地区は観光地として、駅西地区は市民向けと考えられやすいが、10年、20年後に本当にそれで良いのか考えるべき。
駅西と駅東それぞれの地域の特性を活かしていく必要がある。駅東地区は町並みや伝統文化を活かしたまちづくりなのに対し、駅西地区は商業地になっている。駅西地区で一番の核になるのは文化会館や福祉センターである。
駅西地区の駐車場で来訪者を受け止め、自由通路を通り、駅東から駅前本通りを歩いてもらうのが高山の観光としては、一番よいルートと考える。
駅周辺整備については7次総後期から議論があったが、当時から駅のスタイルは変化しており、インバウンドの増加が考慮されていない。
駅西地区に車を停めて、まちなかの商店街の飲食店などでスタンプラリーを企画してはどうか。
駅東は観光、駅西は市民のためのまちづくり。
駅東は観光、駅西は居住機能というイメージ。
駅を核としたコンパクトなまちづくりを考えるべき。
郊外の居住が増えているが、まちなかでの暮らしにも興味を持ってほしい。
駅周辺地域の現状を把握して、一からしっかりまちづくりを見直してほしい。
アンダーパスができたことで、東西の往来はしやすくなったが、国分寺通りに車が流入しすぎている。
自由通路は駅の一部というイメージであり、駅の利用者以外は往来に利用するという認識がない。
子どもや20代～30代の人が住みよいまちになるように考えてほしい。
駅西地区は私有地も多いため、まとまった土地を確保できない。
駅西地区は地価が上がっているため、市内業者は手が出せず、県外の大手事業者が入ってくる。

まちづくり構想を、住民などにどう協力していただくか、周知していくかが重要である。
駅西地区の未活用の民有地にホテルなどが建たないように、早期に土地の確保に取り組んでほしい。
海外では文化会館のような施設がまちの中央にあり、そこに人が集まり、帰るときに商業施設に寄っていく。
中心市街地は歩いて回れるコンパクトな町並みであるため、そのメリットを生かすべき。
観光客にゆっくり歩いてもらうことで、滞在時間を延ばすことが必要である。
市外の人から高山は道にゴミが落ちていない綺麗なまちであると聞いたことがあり、歩いて回るからこそ気付く魅力である。
観光シーズンになると、中心市街地で渋滞が発生し、配送などの生活交通に影響がでる。観光客は駅に近い大きな駐車場に駐車してもらい、パークアンドライドを進めることが望ましい。
レンタサイクルを充実してほしい。
駅に案内表示が無いので、どちらに降りたら目的地に行けるかがわからない。
中高生が駅西地区の商業施設に集まっている姿や文化会館で学習している姿を見かけるため、若者が滞在できる空間が必要である。
現在でも駅西ではなく、駅裏というイメージの人が多く。
まちづくりにあたっては、今あるものを最大限に生かすことを考えてほしい。
既に様々な取り組みが遅れており、高山市は高齢者のまちになっていることを認識してほしい。
駅西地区は既に多くの住居や商業施設が立地して町が形成されているが、今後市が規制を強化するのは難しいと考える。
まちづくりのイメージは必要だと思うが、すでにまちが形成されている状況のためそれ以上のイメージが難しい。
文化会館が文化の中心として、駅西地区にあるということ意識して、まちづくりをしてほしい。来訪者に高山の文化水準を知ってもらうきっかけとなる。
飛騨世界生活文化センターは交通の便が悪いが、文化会館は駅が近く、まちの中心にあることから使い勝手が良い。
駅西という呼び名でなく印象的なフレーズを考えてほしい。
総合交流センターというのは抽象的で分かりにくい。文化会館と福祉センターを核とした複合施設を中心としてまちづくりを考えてもらいたい。
高齢化が進んでいるので、公共交通をしっかりと整備し、どこからでも誰でも駅西地区に来ることができるようにしてほしい。
駅西地区にたくさんの方が来てくれるようになってほしい。そのためにはお年寄りでも行きやすいように交通の便が必要である。
ここに来れば何かある、ちょっと行ってみようという場所にしてほしい。
これからは福祉が大事であり、福祉に付随して文化も重要なものだと考える。福祉と文化が融合し、若い人たちが来て多世代の交流ができるなど、人が広く集まって交流できる拠点になってほしい。
ここへ来てみたいと思ってもらえることが一番だと考える。そのためには核が何なのかということ考えてほしい。
駐車場は少ないが、総合福祉センターがこの場所にあることの大切さを考えるべき。使いやすい場所という視点で機能の配置を考えてほしい。
駅西エリアを新しい文化の創造に加えて、新しい福祉の創造としても位置付け、子どもから高齢者、障がいのある方など誰もが当たり前このエリアに集い、協働することで、新たなライフスタイル、生きる実感が得られるための機能、しかけを演出してほしい。
駅西地区に誰もが行きたくなるような空間を整備してほしい。
今後、具体的な計画策定に向かうと思われるが、様々な福祉関係団体が参画できるような方法をとってほしい。

公園の緑化など木に触れることができる場所を整備したり、ジョギングコース、木製チップの道路を整備するなど、飛騨は木の国という実感が得られるとよい。
みんなが集まりやすい、わくわくするような空間にしてほしい。
機能を個別に小さく考えるのではなく大きな面として考えてほしい。
駅西地区の活性化には人が通らないことには始まらない。
駅西口の送迎の一般車が信号付近まで並んで駅に入れないことがあるため、解消できるようスペースを設けてほしい。駅西口付近の未活用の土地を有効活用できないか。
駅西交流広場は、現状賑わいが無く寂しいため、スペースがもったいないと感じる。
駅西地区は観光客が目的とするような店舗がない。
どうしたら駅西側に人が降りるかという視点を持ってほしい。
駅西は渋滞が多いため、駐車場を設置し歩いて移動できると良い。
駅西は生活するのに便利だが、新たな開発によって今住んでいる人が出ていく必要がないようにしてほしい。各機能についても、他の場所に集約することも検討してほしい。
駅西地区の住民はスーパーなどが充実しているため、生活が駅西地区で完結してしまう。駅西地区に住む方々の駅東に対する意見や来訪状況を把握する必要がある。
駅西も既に古い町になっていて、駅東がさらに古い町になっている。駅東は観光を売りにしているが、整備が遅れており、コロナ禍などの影響を強く受けてしまっている。
駅西地区の住環境の整備も大事だが、国分寺通りより北側の花岡町、初田町の方が静かな住宅地であり、そういった場所の整備も重要だと考える。
ホテル建設に併せて、その利用者を取り込めるように動いている。
本町から東側は観光目的の人が多く、国分寺通り付近は清見や久々野地区から買いものに来る人もおり、様々な店舗が混在しているため統一ができてない。
歩車分離の信号機は本当に良い取り組みなのか疑問である。
市街地に駐車場が増えている。これ以上景観を崩さないために、早期に土地や建物を市が確保するなどの対応をしてほしい。
大新町などの川東地区の古い家は景観や建物の保存の観点から整備しにくいいため、新陳代謝が悪い。
天満駐車場や不動橋駐車場に観光バスが来ても、匠バスに全員は乗れない。
バスセンターを2階建てとし、2階部分にバス待合所を設置し、駅東口広場からエスカレーターにより接続できると良い。
バスセンター拡張のための土地取得については、所有者の理解が必要である。
インバウンドの急増の際に、バスの乗車待ちであふれた観光客の対応として駐輪場の前に屋根を整備したことがある。
バスセンターは待合室が狭く、バリアフリーとなっていない。
駅東側は整備にあたって自由度が低い。
駅東の上一之町花里線（歴みち通り）のレンガ通りにアーケードがあると良い。
駅東の駐輪場をバス乗り場及び待合所にできればインバウンドの対応ができる。
神明駐車場から安川交差点の渋滞解消が必要である。
まちなかに車が入りすぎていることから、信号が青になっても進めない状態のため、車を流入させない施策が必要である。
観光客が歩いて回ることで商店街が活気づいて潤うと考える。
地元企業も渋滞緩和になるような取り組みを考える必要がある。

機能に関すること
駅西地区に電車を見ながら過ごせる喫茶店や休憩スペースなどが必要である。
市民でも観光客でも気軽に立ち寄れる商業施設を整備すると良い。
複合施設を商業施設として利用するのであれば、納品するためのスペース等も必要である。
大型商業施設を整備のうえ、店舗ごとの家賃単価が下がるような工夫をすると良い（例：渋谷の肉横丁、名古屋の地下街エスカ）
市が商業施設を整備するとうまくいかないイメージがあるため、民間による整備が良い。
事業者としては、市外から来る人をターゲットとした商業施設を整備されると、支障が出てくる。
コンサートや映画鑑賞の機能は文化会館が担っているが、老朽化しているため再整備してほしい。
映画館がないため、若い世代が市外や県外まで見に行っているのは、若者の流出に繋がっている。
駅西地区は居住機能や文化施設、映画館などを整えるとともに、駐車場も整備して車で行きやすいようにしてほしい。
高校生の声として、市は映画館が無くなり、遊べる場が少ないため、将来市から出たくなると聞いた。
映画館が難しいようであれば、プロジェクターやスクリーン、誰もが座れるソファを設置し、動画配信サービスにより映画などを自由に視られたり、VR体験ができるなど環境を整えてほしい。
若者向けに映画館があると良い。
映画館はあればいいと思うが、運営が維持できるのか疑問がある。
映画はサブスクリプションですぐに見ることができるためニーズが高くないのではないかと。3D、メタバースなど多様なニーズに対応できる施設の方がいいのではないかと。
若者達が働ける場所（貸スペース）があると良い。
現文化会館はホールの音漏れ、人が裏口から自由に出入りできてしまう、楽器の搬入が不便で構造的な課題が多い。
現在の文化会館にある鑑賞事業、講演会に対応できる機能、展示スペースは維持してほしい。
wi-fiが使えるイベント会場を整備し、賑わいが生まれると良い。
文化会館という名前を～ホール等の名前に変えた方が良い。
文化会館が公民館機能と混在してしまっている。
駅西交流広場をマルシェなどのイベントを開催するなどして活用してほしい。
駅西交流広場を、若者がバンドやダンスなどで表現する場として有効活用できるのではないかと。
子どもが遊べる公園があると良い。
公園に子どもが遊べる遊具が少ない。
かつて中山公園にあったアスレチックやアクティビティが高山のどこかにあると良い。
子どもが遊べる遊具がある施設があると良い。
子どもが遊べる公園があると良い。
公園等はニーズがあるが、あったとしても人口は減っていく。
近所で遊ぶようなイメージで利用できる子どもが遊べるスペースがあると良い。
屋内で子どもが遊べるスペースがほしい（例：ピュアキッズ（イオンモール大垣））。
公園を整備し、子どもが遊ぶ遊具を何か特徴があるものとしてほしい。

子どもを連れて遊びに行けるところがあると良い。また、屋内で遊ぶことができ、親が休憩できる機能があると良い。
文化会館はバリアフリー化ができていない。
低年齢児に比べ小学生などの障がい児の成長に応じたオムツ台などの福祉機器の整備が必要である。
駅西地区に自転車などで来ることができる方は限られており、全ての高齢者向けの機能を集約してしまうのは難しいと考える。例えばデイサービスなどは、各支所に散らばっていた方が良い。
駅西地区に整備する施設には図書館の分室のような機能も持たせてほしい。
高校生が、JRやバスを待つ間、Wi-Fiを使うことができた民間施設が、無くなってしまった。村半は利用者がいつもいっぱい、図書館は駅前から遠いため、空家も活用するなどして、Wi-Fiが使えて、勉強ができる施設がほしい。
駅西地区の複合施設に図書館機能があれば煥章館を利用しない様々な年代の人も図書館を利用できる。
中高生の読書離れが進んでいるため、複合施設内に通学時の待ち時間に利用できるヤングアダルトコーナー（中校生向けの本）を設置すると良い。
何かのついでに図書館が利用できるような機能が複合施設内にあると良い。
図書館の各分館のように、本の予約、返却ができるような場があると良い。
駅西地区には本や雑誌のみ配置して、貸し出し機能無しの空間があると良い。
文化や芸術に関する機能を充実してほしい。
飛騨市の施設のように音響が良く、コンサートに行きたいと思えるホールにしてほしい。
公園の緑化など木に触れることができる場所を整備したり、ジョギングコース、木製チップの道路を整備するなど、飛騨は木の国という実感が得られるとよい。【再掲】
冬でも利用できるプールがあると良い。
住居地域として整備する必要があるか考える必要がある。
駅西地区は商業施設がどんどん出来てきている。駅西で高山らしいまちづくりの目的を達成するには、将来的には居住にかかる規制も必要になってくるのではないかと考えている。
駅西地区は地価が高く、高収入でないと住めないため、住宅地として整備をすすめるなら配慮が必要。
支所地域などに居住している高齢者のまちなかでの居住を誘導し、残った空き家の利活用によりその財源としてはどうか。
公園が少ない。
車で行くことができ、一日中遊べる公園があると良い。
まちなかに子どもが遊べる大きな公園が無い。
車で行くことができ、子どもが遊べる広い公園が必要である。
公園にはベンチや木陰があれば良く、遊具などは必要ない。
公園がまちなかにあれば、観光客も休むことができる。
公園などを整備するにも必要な場所を確保できない可能性がある。
市全体で考えた場合でも、駅西地区に子どもが安全に遊べる公園を整備してほしい。
公園の周辺に、木陰や屋根下など日陰になるところがたくさんあると良い。
原山公園は木陰が少なく、ポップ公園はベンチが少ない。市の公園では、子どもを遊ばせている間、母親が日陰などで休むことができない。
駅東地区の広場にある水で遊べるスペースで、子どもが楽しんでいた。駅西地区にも観光客が来て遊べる場所があると良い。
憩いの場として緑の多い公園があると良い。
観光スポットにもなる大規模な公園があると良い。
文化会館のホールの収容人数を受け入れるだけの駐車スペースがないのはおかしい。

地下駐車場をつくるべき。
駅西駐車場が文化会館等の駐車場がいっぱいとなった際の受け入れ先になっているが、バス用の駐車スペースで半分埋まっている。
様々な人が集える文化的な施設と公園施設がまとまった地区になると良い。
文化会館の駐車場の混雑状況がわからないので、周辺に案内掲示板等を設置し状況がわかるようにしてほしい。
総合福祉センターの駐車場は止められる台数が限られているが、多少なら駐車料金を支払ってもよいという利用者の声もあるため、駐車需要の対応を検討してほしい。
施設や駐車場の整備にあたっては、障がい者が利用しやすくなるような具体的な利便性に配慮してほしい。
障がい者としては駐車スペースが少なく不便である。
商業施設を利用する車による渋滞や、周辺施設の利用による渋滞を解消してほしい。施設が増えればそれだけ交通量も増えることになる。
施設が増えればそれだけ交通量も増えることに留意してほしい。
岐阜市役所周辺は、警察署などの公的施設が集まっており、隣に立体駐車場があるため、利便性が良いと感じた。駅西地区外に住む者の立場としては駐車場は必要である。
コロナ禍ではマイカー利用の割合が増加したことにより、休日はまちなかが混雑し、バスの遅延が発生しているため、パークアンドライドの強化が必要である。
複合施設の整備にあたり、駅西地区に立体駐車場の整備が必要である。
駅西地区の駐車場で来訪者を受け止め、駅東地区へ車を入れない施策が必要である。
東西南北の駐車場からのパークアンドライドも含めて検討する必要がある。
駅西地区に駐車スペースを整備すると、まちなかの民間駐車場への影響が出てくる。
駅西にマイカーを止め、自由通路を経由して古い町並まで歩いて行けることが理想である。
高速バスの利用者が駅西駐車場に駐車できると良い。
文化会館の跡地に大規模な駐車場があると良い。
地下駐車場を整備し、市民は無料、他は有料としてほしい。
商業施設を整備するなら駐車場が必須。
路線バスに人が乗っていないように見受けるため、人が乗る工夫をしてほしい。
国分寺通りの信号の連動性が悪い。
路線バスは必要であることから維持してほしい。
高齢化が進んでいるので、公共交通をしっかりと整備し、どこからでも誰でも駅西地区に来ることができるようにしてほしい。【再掲】
駅西地区にたくさんの方が来てくれるようになってほしい。そのためにはお年寄りでも行きやすいように交通の便が必要である。【再掲】
総合福祉センターが満車となった場合、駅西駐車場まで行かなければならないことが多く、駐車場の確保が必要である。
近隣の人しか使えない状況は改善が必要であり、高齢者に不公平とにならないように整備をしてほしい。駅西地区に来るのに片道1時間かかってしまう人もいる。近隣の人しか使えない状況は改善が必要。
駅東と駅西の両方にバスセンターの拠点を分散することは、センターの運営としては効率的ではない。
どこでバスに乗車すればよいか分からない方がいるため、拠点を分散することは混乱を招くことになる。
幹線バスや高速バスの発着を駅東とし、のらマイカーなどの地域バスの発着を東西に分散した場合に、それぞれの乗り継ぎが不便となる。
駅西にバスセンターを配置したとしても、乗り継ぎのために駅東にバスを回す必要がある。
清見地区や荘川地区から駅西側の商業施設に来る方のため、駅西の複合施設にバスの待合室を設置すると良い。

駅西地区にバス発着所を作ったとしても、利用があるかはわからない。
匠バスを観光目的で運行するならば、駅西から古い町並へバスセンターを経由しないで直行することも考えられる。
バスセンターの拠点を2カ所とすることは人手などの観点から困難である。
駅西地区にバスの拠点を作ったとしても、駅東で発着する必要があることから、駅東を通らずに運行することはできない。
アンダーパスを大型バスが通行できれば2拠点化の可能性もある。
駅西と駅東で乗り換えをした場合、自由通路があるとは言え、利用者にとっては利便性が悪く、メリットが無い。
JRを降りた方に対し、どちらに行けば何があるという表示をする必要がある。
複合施設にバスの待合所を設置しても、駅東に発着所があると乗り場が分かりにくくなってしまう。
複合施設に、バスの待合所、停留所を設置することは考えられる。
複合施設が完成すれば、まちなみバス駅西ロータリー経由が活きてくる。
清見、荘川、白川町方向は駅西から発着した方が円滑である。
立体駐車場を整備すべき。
昭和中山線の国道41号との交差点までの渋滞解消が必要であり、駅西地区への交通分散として文化会館の通りへ誘導できると良い。
皆が歩くようになるとタクシー事業者としては困るが、歩き疲れた人を新たにターゲットにすることはできる。
駅東西で業務用車両と一般車両のすみ分けを行うことは反対である。バイパス方面に向かう場合は西口から乗せた方が効率的なことがある。
公共交通機能を駅東西でバランスよく配置するか、集約するのかによって、事業者の対応が大きく変わるため、しっかりとした検討が必要である。
JRを降りてから、どちらが古い町並か分かりづらいため、分かりやすい表示が必要である。
駅西口のロータリーが狭いため公共交通機関は使用しにくい。
高齢者のためののらマイカーの維持。
高山駅西口は商業施設が多いため、のらマイカー等の拠点を移設し集約すると良い。
アンダーパスができたことにより、東西の車両の流れが良くなった。
駅西から駅東に行くにはアンダーパスか自由通路を通るが、もう一本導線があったほうが交流が広がると考える。
花里跨線橋は遠くて使わない。
観光客は自由通路の存在を知らないため、案内を設置するほか、もう一本導線があると良い。
駅周辺地域の無電柱化や道路拡幅を早く進めてほしい。
駅西地区に商業施設ができたことで、アンダーパスと西之一色花岡線の交差点付近で渋滞が発生しているため解決してほしい。
駅東西の回遊性を高めるために、駅東西をつなぐ広い道がもう一本あると良い。
アンダーパスは歩道は、幅が狭いため自転車が通ると怖さを感じる。
駅東西をつなぐ道がさらに整備されると、上一之町花里線（歴みち通り）に人が流れることが予想される。駅東の商店街にも好影響があるよう配慮してほしい。
アンダーパスは歩道が片側にしかなく、自転車が歩道を走るため危ない。
歩いて駅西駐車場から駅東地区に行くためには、アンダーパスを横断する必要があり、円滑な移動の支障になっている。
西之一色花岡線が狭くなる箇所を円滑に通行できるようにしてほしい。
駅西地区を再開発するなら道路等のインフラもしっかり整備してほしい。
車でポッポ公園から高山合同庁舎を通過してアンダーパスに向かうと片方向にしか曲がれないため、案内板等で周知してほしい。

アンダーバスは大型バスが通行できないため、東西の行き来の支障となっている。
普段から東西自由通路の利用者を増やすことが大切である。
複合施設の1階をバスターミナルにするためには、西一色花岡線などの道路がしっかり整備される必要がある。
高山駅西側道路は土日は渋滞しており、なんとかしてほしい。
歩行者が安心して移動できるように道路等を整備してほしい。
駅東地区で進められている無電柱化について、景観や防災の面でメリットがあると考えため、ぜひ駅西地区でも進めてほしい。
市民だけでなく来訪者も楽しめるようなインスタ映えする景観（オブジェクト）があると良い。
開けた景観が維持できるよう、低層の建物とすべきと考える。
商業機能が集まるなら、看板の材質や色など意匠を統一した方が良い。
災害時には施設の開放をしてほしい。また、通路に屋根があれば一時的に避難することができると思う。
文化会館を建て替える場合でも、現在と同様の機能は維持したまま建設してほしい。
整備する施設については、若い世代と高齢者世代が交流できるよう複合的な施設にしてほしい。
総合交流センターというのは抽象的で分かりにくい。文化会館と福祉センターを核とした複合施設を中心としてまちづくりを考えてもらいたい。【再掲】
高齢化に伴い独居世帯も増えてくるので、みんなが集まれる交流拠点は必要だと考える。
駅西地区に整備する施設については、様々な情報が得られ、様々な手続きができるなどの行政的な機能がワンストップで対応できるような機能を考えてほしい。
人が集まれる場所・建物が必要である。建物には、文化会館、福祉センター、喫茶店、美容院、歯医者、NPO法人、市の出先機関などがあると良い。
これからは福祉が大事であり、福祉に付随して文化も重要なものだと考える。福祉と文化が融合し、若い人たちが来て多世代の交流ができるなど、人が広く集まって交流できる拠点になってほしい。【再掲】
現在、ファミリーサポート事務局が総合福祉センター2階にあり、あゆみ学園利用時の付き添いの兄弟の預かりや児童センター利用者（保護者）のリフレッシュのための預かりなど、社会福祉協議会の機能と市の事業が連携できている。ポップ公園で遊ばせたり、夜間利用の場合のお風呂の利用など、新施設になっても同様の機能を持たせて、連携できるようにしてほしい。
富山市のレガートスクエアのように、助産師、保健師が常駐するなど妊婦さんや産後間もない人が利用できる産後ケア事業も福祉センター内にあると良い。
公共交通の拠点である駅西地区に障がい者の方や、子どもから高齢者まで集うことができる施設が整備されるのは良いことだと考える。
総合福祉センターを移動させる場合でも、現在のポップ公園のように近くに広場を配置してほしい。
子どもをもつ親世代からは、ポップ公園のような広場と併設した季節、天候関係なく子ども遊べる屋内型のスペースがほしいという声が多かった。
駅西エリアを新しい文化の創造に加えて、新しい福祉の創造としても位置付け、子どもから高齢者、障がいのある方など誰もが当たり前このエリアに集い、協働することで、新たなライフスタイル、生きる実感が得られるための機能、しかけを演出してほしい。【再掲】
現在、妊娠、子育て、就労、介護、就活に至るまでの様々な相談支援が存在しており、相談者が窓口や事業所に訪問することで実施されている。駅西地区に各相談事業所がシェアしあえる相談スペースを配置することで、事業者と相談者がともに出かけて利用する形態となるため、相談へのハードルが低くなり、相談者も精神的な安心が得られると考える。プライバシーへの配慮が必要だが、整備の仕方に対応できると考える。

<p>駅西地区のまちづくりによって誰もが楽しみや感動を実感できるのが理想だが、特にこれからの社会を担う子どもたちへの機能を優先的に考えてほしい。</p> <p>岐阜市のぎふ木遊館や豊橋市のこども未来館のように有料でも様々な体験プログラムがあったり、立地を考慮して交通教育に効果的なしかけがあると良い。</p>
<p>市内に子どもが遊べる場が無い。駅西地区に子どもが集まれる場所を検討してほしい。</p>
<p>駅西側に人流を増やせるように、駅直結の複合施設を整備すると良い。</p>
<p>他地区の他店舗への影響はあるが、駅西地区に大きな土産物店などの複合施設があると良い。</p>
<p>待合所、ロッカー、売店、飲食店などの集客施設があると良い。</p>
<p>駅西駐車場に駅東に向けての案内を設置してほしい。</p>
<p>文化会館には大きな物品を搬入するためエレベーターがなく、搬入用の車をつけることもできない。</p>
<p>Uターンで若い世代が帰ってきて、高山の良さを再発見できるような施設を作ってもらいたい。</p>
<p>市民や観光客の駅東西の回遊性の向上のための施策を考えてほしい。</p>
<p>行神橋のように、回遊性や歩行空間の確保という観点から取り組みを考えるべき。</p>
<p>駅西地区から支所地域への発信機能も期待する。</p>
<p>子どもに特化した施設と文化会館をそれぞれ機能を整理して整備し、車いすの方でも利用しやすい屋根のある通路で結べると良い。</p>
<p>通信事業者などの民間企業も社会貢献をしたいという考えがあるため、協力を得ながらデジタルな空間を作してほしい。</p>
<p>JRで到着してから、休憩できる場所があると良い。</p>
<p>ユニバーサルタクシー（車椅子で乗り入れ可能な車両）を横付けできる施設が良い。</p>
<p>高齢者や障がい者が積極的に利用してもらえる施設ならば、車椅子の乗降場などのバリアフリーの観点からの整備が必要である。</p>
<p>高山の産業を紹介するような地場産センターの機能を移転すると良い。</p>
<p>文化会館と同様の機能を持つ飛騨世界生活文化センターがあるが、遠くて使わない。</p>
<p>今以上の施設はいらないので、文化会館の改修による機能の充実してほしい。</p>
<p>文化会館の整備にあたっては、現状の問題点を解決できるよう設計してほしい。</p>
<p>文化会館は駅に近く立地しているため、文化を広げる施設としては良い位置にある。</p>
<p>文化会館のホールは地震が起きて照明などが落ちる恐れがある。</p>
<p>文化会館は機能的に中途半端なものが立っていると感じている。</p>
<p>文化会館は街なかである現在の位置に必要であり、駅西地区の核となる。</p>
<p>文化会館は利便性をしっかり確保すべきであり、老朽化が進んでいることから早急に建て直すべき。</p>
<p>現在の文化会館を複合施設にしたため、公民館として使い勝手が悪い、駐車スペースが少ないなどといった問題が発生しているため、それぞれ施設を整備してほしい。</p>
<p>文化会館という名前が古く感じる。似た名前でも良いが、夢のある格好いい名前をつけてほしい。</p>
<p>PPP手法の活用は、地元の業者が育たないのではないかと心配する。地域の活性化や発展を考えて、地元企業を育てることを考えてほしい。</p>
<p>文化会館と総合福祉センターの施設管理者のニーズの擦り合わせが必要になってくる。</p>
<p>総合交流センターという言葉には何でもできる、何でも使えるという考えがあると思うが、やはり文化会館が核になると思う。</p>
<p>高山駅西口の民有地に文化会館を整備してほしい。</p>
<p>総合福祉センターは高齢者の活動は無料となっている一方で文化会館は有料となっている。利用目的のすみ分けが必要と考えている。活動の裾野が広がり、団体が独立して運営できるようになれば文化会館で活動してもらおうべきと考える。</p>

文化会館と総合福祉センターを統合した場合、大規模なイベントの時以外に使われないということが無いよう、利用しやすい施設にしてほしい。
障がい者が総合福祉センターを使用する機会は少ない。
総合福祉センターはできるだけ木質化してほしい。
PPPの手法で実施する場合、全体の管理をノウハウのある企業が入り、地元組織が間借りして実施する方法が想定されるが、利用する市民との距離が遠くなると考えられる。
駅周辺整備事業の範囲が限られている。
荘川・清見方面のバス発着を駅西にするメリットはあるが、2拠点化にすることは困難である。
高齢者の中には、駅西の商業施設のカーンを駅東のバス停まで持っていく、置いていく方がいる。
駅西交流広場は人が集まった時は賑わっているように感じるため、高山には丁度よい広さである。
駅西交流広場は指定管理者制度への移行ができなかった経緯があるため、民間による運営は難しいと感じる。
どのような利用者をターゲットにするかによって、施設の規模や内容が変わってくる。
どのような利用者をターゲットにするかによって、目的に沿った使用ができるような施設にすることが必要である。
駅西交流広場が活用されていないため、新たに整備する場合は、毎週イベントがあるなど、駅西に行きたいと思える取組みが必要。
若者が事業が始められるように、家賃補助制度があると良い。